



学習塾ウィル2019年度募集要項

募集人数 (各学年 定員28名)	東所沢教室		新所沢教室		所沢教室	
	新中学3年生	現在満席	新中学3年生	残り6名	新中学3年生	残り10名
新中学2年生	現在満席	新中学2年生	現在満席	新中学2年生	残り20名	
新中学1年生	現在満席	新中学1年生	残り10名	新中学1年生	残り22名	
新小学6年生	残り11名	新小学6年生	残り24名	新小学6年生	残り25名	
新小学5年生	残り23名	新小学5年生	残り25名	新小学5年生	残り27名	
新小学4年生	3/3より新規募集! 28名	新小学4年生	3/3より新規募集! 28名	新小学4年生	3/3より新規募集! 28名	

入塾希望者対象 説明会	2019年3月3日(日) 13:00~14:00	2019年3月3日(日) 13:00~14:00	2019年3月3日(日) 13:00~14:00
説明会内容	※全学年を対象にウィルの方針をご説明させていただきます。なお、新小学4年生は説明会終了後募集開始となっておりますので、その前の体験授業およびご入塾は受け付けておりません。恐れ入りますがあらかじめご理解ご了承下さいますようお願い致します。		
対象学年	全学年対象		
予約	予約不要		
途中出席・途中退席	可		

学部	入塾基準
小学部	<ul style="list-style-type: none"> 現在、公立小学校に通われていて、入塾時点で中学受験を考えていないこと。 適性検査において各科目30点以上であること。 スマホやゲームに依存した生活をしていないこと。 クラスチームに代表されるような、本格的な習い事をしていること。 ウィルのカリキュラムやルールを理解し、守れること。 午後10時までに必ず就寝する習慣があること。
中学部	<ul style="list-style-type: none"> 現在、公立中学校へ通われていて、入塾時点で通知表に「1」が無いこと。 適性検査において各科目基準となる数値を超えていること。 スマホやゲームに依存した生活をしていないこと。 クラスチームに代表されるような、本格的な習い事をしていること。 ウィルの時間割を優先できること。特に、中学3年生からは、他の習い事よりも塾を優先できること(部活動は除く)。 ウィルのカリキュラムやルールを理解し、守れること。

入塾までの 手順
入塾希望者 対象説明会 → 体験授業の 予約 → 体験授業 → 入塾の意思表示および 適性検査の予約 → 適性検査 → 教室長との 入塾面談

注意事項
1. キャンセル待ちについて 入塾を希望していただいたにもかかわらず、残念ながら定員を満了してしまっていた場合にご登録をお勧めしております。定員に空きが でき次第、ご登録をいただいた順にご連絡を差し上げ、その時点にご入塾を希望されれば優先的にご入塾ができます。なお、キャンセ ル待ちのご登録は将来の入塾を強制するものではありませんのでご安心ください。
2. 体験授業について 当塾では、体験授業を受けられた後、一般的な塾のように、入塾のお誘いというようなご連絡を一切いたしていません。「こちらから勧誘 はしない。ウィルを気に入ってきて、自ら入塾の希望をしていただける。そんな方々のために力を注ぎたい。」これは僕らのポリシーで す。勧誘の電話がないからといって、決して我々が入塾を拒否しているわけではありませんので、どうか誤解なさらないようお願いいたし ます。

Will News Paper

「公立中+塾 ≥ 私立中」 私立中以上の「かたち」がここにある。

INDEX 目次

- P2.....小学部 教務方針
- P3.....中学部 教務方針
- P4-5...今年度卒業生の実績・
昨年卒業生の保護者の声(一部記載)
- P6.....保存版
埼玉県公立高校ランキング
- P7.....学習塾ウィル沿革
- P8.....募集要項・料金表など

2019

対象学年 小学4年生~中学3年生 2019年度 生徒募集スタート

お待たせしました!年に一度の広告です。共に学ぶウィルの仲間を募集します!



Event schedule その他の試み.....

- 大学見学会**
早い段階で大学という未知の世界を実際に自分の目で見てもらいます。将来の目標が見えてくるかも?
- 卒業生による座談会**
受験を一度経験した先輩たちの話が聞ける!いち早く受験をイメージすることができると好評。
- 塾内開催 私立高校進学説明会**
塾生の志望校へウィルが直接交渉。私立高校の入試担当者があなたのために説明をしてくれます。
- 課題図書(国語受講者のみ)**
「本が身近にある生活」を送り、読書の楽しさ・素晴らしさを実感し、「読書好き」になって欲しいというのが私たちの願いです。将来的に色々な本を自主的、能動的に読み進めることができるよう、1年間で1~2冊程度の「課題図書」を指定し、「課題図書」を題材にした授業も行います。
- 社会見学会**
「子どもに興味を持たせるために、まずは知る機会を増やす」をモットーに講師引率の下、みんなで都内有名博物館へ行きます。子どもたちのはしゃぎっぷりといったら、もう大変です。
- 塾内開催 公立高校進学説明会**
県立高校の先生が、県立高校のすばらしさを生徒に直接語りかけてくれます。その複雑な入試選抜の方法もわかりやすく解説。不安がすっきり解消されます。
- 入退室メール配信システム**
ウィルでは、生徒の入退室をメールで保護者にお知らせするサービスを行っています。これでお子様の通塾、とりわけ帰宅時間に関しても、保護者の方に安心していただけると幸いです。

学 年	科 目	授業時間数(週)	授業料(月額)	諸費用(半年分)
中学3年生 (3科目必修)	英語・数学・国語	3教科(90分×3)	28,080円	32,400円
中学2年生 (科目選択)	英語	3教科(90分×3)	25,920円	27,000円
	数学(算数)	2教科(90分×2)	17,280円	21,600円
小学5年生	国語	1教科(90分×1)	8,640円	16,200円
小学4年生 (科目選択) ※英語なし	算数	2教科(90分×2)	17,280円	21,600円
	国語	1教科(90分×1)	8,640円	16,200円

選 択 講 座

ウィルでは、どの塾でも必修とされる講習すらも選択制です。「休む時はしっかり休んで、家族との時間を大切にすべき。」県立高校受験専門だからこそできるウィルの教育方針です。

- 理社講座【中1~中3】** ※中3は入試対策を行うため原則必修です。
教科における学力格差がもっとも大きいのは、英語や数学などではありません。信じられないかもしれませんが、いまや理科と社会なのです。ウィルでは、定期テスト対策はもとより、理科や社会を学ぶために必要な基礎知識、そして思考のプロセスを通して「考える種」を蒔いていきます。
- 講習【全学年/春期・夏期・冬期】** ※中3は入試対策を行うため原則必修です。
あれほど楽しかった、せつ々の長期休み。講習を無理やり押し付けるような塾はいかなるものでしょう。ウィルの講習は、日頃からしっかりとできている生徒であれば対象外、日頃の学習状況が遅れ気味の生徒だけを対象に、学校が休みとなるこの時期に追いつけと猛復習するためのものです。
- ハイレベル講座【中3】** ※東所沢教室のみの開講です。
城北や桐朋のような名門私学をはじめ、明治、中央、立教、法政といった、特別な指導が必要となる大学附属高校を目標にした生徒を対象に、平常授業に個別指導を併せることによって、中学校レベルを大きく超えた内容まで指導します。

開塾時間(受付時間)
平日 16:00~22:00
土曜・祝日 15:00~22:00
日曜 休館日



※上記料金はすべて消費税8%を含んだ料金となっております。 ※兄弟姉妹割引(諸費用・平常授業料・選択講座の全てが半額)あります。

【特典】
2019年4月末日までに入塾の意思を表示された方
そしてキャンセル待ちをされた方からのご入塾の方は
入会金10,800円(税込)が免除されます。

■東所沢教室 TEL: 04-2951-6311 FAX: 04-2946-0006
■新所沢教室 TEL: 04-2943-1862 FAX: 04-2943-1863
■所沢教室 TEL: 04-2935-4247 FAX: 04-2935-4148

同じ場所で、同じ時を過ごす28人。共に成長し合える、かけがえのない仲間。先輩から後輩へ、受け継がれる伝統と絆。だからこそ続く、安定した高い実績。

キミのもう一つの学校になる!

定員制 県立高校受験専門

- 「教」に頼られる人などもういない! 全員が伸びてこそその「教務力」。平均偏差値が教務力の証。
- 目標は県立高校! 県立高校入試に特化したカリキュラム。
- 集団授業で「枠」を広げ、個別指導で知識を積み上げる。定員制だからこそできる質の高い環境。

「貴重な時間やお金をムダにしないために!」
無料 2週間 最長の体験授業を実施しています。

http://www.will-school.co.jp/



小学部

小学4年生～
小学6年生
Elementary School

公立中 + 塾 ≥ 私立中



中学部

中学1年生～
中学3年生
Junior High School

「公立中の良さ」を最大限に活かす指導体制

子供に「思考の種」を蒔こう。



ウィルが考える

中学校へ上がる前に、子供の心に蒔いておきたい「3つの種！」

考

種々の1 「考える力」の種

- “知る”こと、“わかる”こと。その一瞬に喜びを感じる心。
- 悩んで、試して、また悩む。脳に汗を掻きつつ工夫を愉しむ心。
- 思考を止めない！ 時間の許す限り、自分と向き合う心。

勉強は自ら育てるために行うもの。自分が成長していないのなら、それは勉強とは言いません。『できなかったことができたようになる』。ちょっとした変化で変わっていく成長を喜び、意欲が大切なのさ。しかし、『1日1時間、机に向かいなさい』とか『1日3ページ進みなさい』というように、バリエーションが豊富で、本来の目的である『考える』こと、ウィルでは、小さい子どもたちの心に『考える』とはどういうことか、それを時間をかけて伝えていきます。

競

種々の2 「競う力」の種

- 昨日の自分よりも成長したいと思う心。
- 周りの誰かよりも成長したいと思う心。
- 目標に向かって努力し、互いに高め合うことを美しいと思う心。

「切磋琢磨」という四字熟語があるように、競い、励まし合い、成功したり、時には失敗したりする中から、人は学び、習得し、そして成長していきます。子供たちには、文部科学省ならびに小・中学校が推奨している「競争」ではなく、「負けず」も兼ねた「競い方」を学んでもらいたい。そう私たちは考えています。『負けたとき、失敗したとき、それをどう捉え、次にどう活かしていくのか。』この姿勢が、子供の伸びに大きな差をつけるのです。

耐

種々の3 「耐える力」の種

- 自分の思い通りにならなくても、きちんと受け入れることができる心。
- 失敗を肯定的に捉え、失敗から何かを学ぼうとする心。
- 決して腐ることなく、自分の未来を描き続けられる心。

友達と競った、でも負けてしまった。子供のやる気が削がれてしまう瞬間です。しかし、そんな時にこそ『何ができなかったんだろ？』と振り返って、次に活かすための種を蒔いてもらいたい。だからこそ、私たちは『その瞬間』を見逃しません。大事なことは『失敗した後』にあるからです。答えが見つかるまであきらめず、試行錯誤を繰り返して、自分の力で答えにたどり着いた時、子供たちの目は輝き、さらに先へと向かおうとします。こうやって目をキラキラさせている生徒たちが、ウィルにはたくさんいます。

生きる力

本当の「学ぶ力」を養うための種を蒔き、芽吹いた苗を大切に育てます。

ウィルの小学部は、中学受験を意識した授業は行いません。柔らかな心を備えた小学生のうちに、身に付けるべき「基礎学力」の定着と、この時期に携えるべき「全般的な知識」の習得、この2つをテーマに“当たり前前の基準”を高める教育に力を入れています。

小学生だからこそできること。

私たちは、柔らかな心を備えている小学生時代を、受験のための実践的なテクニックの習得に充てるのではなく、将来自らを大きく育てていく礎となる「意識」や「態度」の育成に、より多くの時間を充てるべきだと考えています。

小学生のうちに培った「意識」や「態度」は、その後の人生を決めるといっても過言ではありません。これを疎かにして、ただ点数をとることに何の意味があるでしょう。

小学生の持つ柔軟性、吸収力を最大限に活かし、「基礎学力」の定着、科目の壁にとらわれない「全般的な知識」の習得はもちろんのこと、「これだけで当たり前前」に「これくらいやって当たり前前」という“当たり前前の基準”を引き上げることには重きを置いています。



県立高校入試に
とにかく強い



じっくり時間をかけた指導

特長

1 県立高校受験専門のカリキュラム

「やっぱり学校が基本!」あくまで学校の授業を中心に据えた「復習重視」の基礎から育てるカリキュラム。学校の妨げとなる「先取り」ではなく、「後追い」によって、学力差のある公立中学校では行わない内容まで補完していきます。「難解な問題を6割程度」という難関私立高校とは違い、難関県立高校は「基本的な内容を9割程度」が合格のキーワードです。ウィルでは、他の塾と異なり、名門私立高校入試に必要な学習内容に授業時間を割きません。その代わりに、県立高校入試に必要な基礎学力の定着に時間をかける。だからこそ、県立高校受験で圧倒的な強さを保てるのです。

これで私立も安心

特長

2 推薦支援制度

「私立受験はどうするの?」県立受験だけを見据えたカリキュラムで私立にも対応するには…そのために考え出されたウィルだけの秘策! 「県立高校受験専門のカリキュラム。それでは私立高校受験はどうするの?」という保護者の方々の声を受け、埼玉県の入試制度に基づき私たちが考案した“ウィル独自の進路指導制度”である「推薦支援制度」。

保護者の方々に代わり、私立高校探しから私立高校の入試相談まで、塾が全面的にバックアップすることで、県立第一志望校も安心して受験に臨むことができます。

内容を詳しくは明かせないのが残念ですが、この制度により、多くの生徒が有名私立校に推薦という形で安全に合格しています。



キミのもう一つの母校になる。卒業してもずっと仲間!

特長

3 定員制

「一人で頑張るより、みんなで頑張る方が断然おもしろい!」 集団指導と個別指導を併せ持った、ウィルの「定員制指導」。

「学校を選ぶときにはあれほど参考になる進学実績も、これが塾になると、どうもいまいち信憑性に乏しい。」このように、学校に比べ塾の教務力が見えにくいのは、生徒の入塾の時期がバラバラであることや、入塾してくる生徒の志向、また元々備わっている学力によって、その実績が毎年のように大きく変わるということに原因があります。

来る生徒、来る生徒を、時期にかかわらず、際限なく受け入れる。いつ、どのような目標を持った生徒が入ってくるかわからない。クラスの人数が何人になるかもわからない。そもそも、このような状態が生徒指導にプラスに働くはずがありません。

ウィルでは、私立中学にも負けない教育を掲げ、あたかも学校のような仕組みを多く採り入れています。その中の1つが、この定員制です。各学年28人(12人・16人の二クラス体制)の定員を満たした段階で募集終了、それ以上生徒が増えることはなく、そのメンバーで卒業まで一緒に学んでいきます。

メンバーが固定されると、一人一人の個性を理解した上で、長期的な指導を行うことができるようになります。生徒が途中で入塾してくる可能性を考えなくていいわけですから、付け焼き刃ではない、本当の学力をじっくりと時間をかけて育てることができ、公立にいなから、私学並み、いや、それ以上のハイレベルな内容まで取り扱うことができるようになるのです。

さらに、この28人はそのまま、卒業まで共に学ぶ仲間となります。これが結束力、連帯感を育てないはずがありません。「ウィルの生徒である」というこの絆が、彼らの成長にどれほどの影響を与えているか。これは生徒たちの顔を実際に見ていただく以外に、お伝えすることはできません。

授業の日以外でも、中学3年生を中心に、毎日のように集まっていく生徒たち。ウィルを「もうひとつの学校」と呼んで、母校のように愛情を持ってくれる教え子たち。卒業後も、近況を報告してくれたり、後輩たちにいろいろとアドバイスをしてくれたりする先輩たち。講師として戻ってきた先輩たちの姿を見て、「自分もしっかり頑張って、またここに帰ってきて、後輩たちに教えるんだ」と自ら奮い立たせる後輩たち。

「ウィル〇期生同窓会」なんて言って、高校や、大学へ進学した後も集まる卒業生たち。このような、長く受け継がれてきた雰囲気、いわば伝統が、ウィルが特別な塾と呼ばれ、高い教務力を維持できている一番の要因だと思います。

ウィルの教務力

「数」に騙される人など、もういない！
ウィルは生徒全員に責任を持ちます。
そのため、定員制。
だからこそ、「率」が違う！

偏差値	上位からの割合 (%)
70	2.5% (22位以内/1000人)
65	6.6% (66位以内/1000人)
60	15.8% (158位以内/1000人)
55	30.8% (308位以内/1000人)
50	50.0% (500位以内/1000人)
45	69.2% (692位以内/1000人)
40	84.2% (842位以内/1000人)
35	93.4% (934位以内/1000人)
30	97.8% (978位以内/1000人)
25	99.4% (994位以内/1000人)

偏差値とは、全体の平均を50として、その平均からどれだけ離れているか、全体での位置を表すものです。

学習塾ウィル 所沢教室

第3期生 (24名) の『実績』

平均偏差値 **ss61.4** (3教科平均)

※3年次で最も受験者数の多い9月～12月の北沢テスト、各生徒の最高値の平均です。

学習塾ウィル 所沢教室
第3期生24名の『私立高校進学先』と『国立・公立高校志望先』

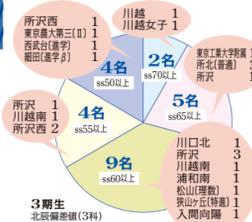
国立	東京工業大学附属高校	1名
	川越高校	1名
	川越女子高校	1名
	所沢北高校(普通科)	3名
	川口北高校	1名
県立	松山高校(理数科)	1名
	所沢高校	5名
	川越南高校	2名
	所沢西高校	3名
	入間向陽高校	1名
市立	浦和南高校	1名
	狭山ヶ丘高校(特進)	1名
私立	東京農業大学第三高校(IIコース)	1名
	西武台高校(進学コース)	1名
	細田学園高校(進学βコース)	1名
	計	24名

所沢教室の責任者としてもちろんですが、僕自身もウィルの卒業生として、「入塾時の選抜はしない。そして、入塾してからの生徒全員を伸ばす」というウィルが掲げるポリシーのもと作られた定員制、同じメンバーで長きに渡って共に学ぶ、これがウィルの最大の良さであり、強みだと思っています。所沢教室3年次というところは、今年の生徒たちは3年間ついてきてくれた大切な教え子であり、同時に僕の後輩、仲間です。彼らもまた東所沢教室、新所沢教室と同様、3年の2がss60を超えるまでになりました。単に指導時間が長いというだけではなりません。「持ち上がり指導」によって生まれる絆、この絆が、毎日のように自習室で集まり、目標に向かっていく中で、頑張る、という雰囲気を作り出し、このような結果につながったのだと思います。



塾教室長
ss70程度 ss55程度
ss65程度 ss50程度
ss60程度 ss50未満

※私立高校の併願合格は掲載しておりません。
※この広告が2月12日作成のため、公立高校ならびに都内私立高校の一部の合格はまだ出ておりません。最終的な進学実績につきましてはHPにて公開しておりますのでご興味のある方はそちらでご確認ください。



5教科平均	塾内平均	ss60.6	英語平均	塾内平均	ss62.3
選択クラス平均	ss66.2		選択クラス平均	ss66.3	
普通クラス平均	ss56.6		普通クラス平均	ss59.5	
3教科平均	塾内平均	ss61.4	数学平均	塾内平均	ss61.9
選択クラス平均	ss66.9		選択クラス平均	ss66.2	
普通クラス平均	ss57.5		普通クラス平均	ss58.9	
	国語平均	塾内平均	塾内平均	ss62.5	
		選択クラス平均	選択クラス平均	ss67.5	
		普通クラス平均	普通クラス平均	ss58.9	

学習塾ウィル 東所沢教室

第19期生 (27名) の『実績』

平均偏差値 **ss62.2** (3教科平均)

※3年次で最も受験者数の多い9月～12月の北沢テスト、各生徒の最高値の平均です。

学習塾ウィル 東所沢教室
第19期生27名の『私立高校進学先』と『国立・公立高校志望先』

国立	筑波大学付属坂戸高校	1名
	浦和高校	1名
	浦和第一女子高校	1名
	川越女子高校	2名
	越谷北高校(普通科)	1名
	所沢北高校(理数科)	1名
	所沢北高校(普通科)	3名
	和光国際高校(普通科)	1名
	所沢高校	4名
	所沢西高校	1名
	朝霞高校	1名
	新座総合技術高校(食物調理科)	1名
	狭山経済高校(情報処理科)	1名
都立	東久留米総合高校	1名
	日本女子大学付属高校	2名
	川越東高校(普通科)	1名
	日本大学鶴ヶ丘高校	1名
私立	大宮開成高校(特選S)	1名
	星野女子高校(1類)	1名
	京華高校(進学)	1名
	計	27名

「これでやりたいんだ。絶対に大丈夫だから任せて。」と、生徒が自分自身で考えてやっていた。そのやり方がうまいっているように見えない。もったいない方法があるよと、その理由も含め丁寧にアドバイスしますが、それでも本人は「自分の考えた方法でやってみよう」「それで失敗しても構わない」と言います。こういう時、我々大人はどうあるべきなのでしょう。高校に合格する、ただそれだけを考えるなら、強制すればいい。でも、その先を考えたどうなのか。芽生えつつある主体性を刈り取ることにしたくない。19期生は自らの強い子たちでした。あくまでも自分で考えた勉強方法にこだわります。そのため、彼らが考えた勉強方法に進学するにあたり、もう一つや伸びが足りない。でも進めれば、そうやって自分で決めたことを達成できた人数は4人に3人と、ここ数年をさかのぼっても一番多かったのではいでしょうか。高校受験は立派な人間になるための重要なプロセスですが、あくまでもプロセス。彼らにとってその後に来る、大きく飛躍する、より良い受験になるよう最善を尽くします。



横井塾長
ss70程度 ss55程度
ss65程度 ss50程度
ss60程度 ss50未満

※私立高校の併願合格は掲載しておりません。
※この広告が2月12日作成のため、公立高校ならびに都内私立高校の一部の合格はまだ出ておりません。最終的な進学実績につきましてはHPにて公開しておりますのでご興味のある方はそちらでご確認ください。

5教科平均	塾内平均	ss62.2	英語平均	塾内平均	ss62.7
選択クラス平均	ss65.7		選択クラス平均	ss66.7	
普通クラス平均	ss57.9		普通クラス平均	ss59.7	
3教科平均	塾内平均	ss62.2	数学平均	塾内平均	ss61.8
選択クラス平均	ss66.2		選択クラス平均	ss65.9	
普通クラス平均	ss59.2		普通クラス平均	ss58.8	
	国語平均	塾内平均	塾内平均	ss62.2	
		選択クラス平均	選択クラス平均	ss64.5	
		普通クラス平均	普通クラス平均	ss60.4	

5教科平均	塾内平均	ss60.7	英語平均	塾内平均	ss60.7
選択クラス平均	ss65.9		選択クラス平均	ss65.6	
普通クラス平均	ss56.9		普通クラス平均	ss57.1	
3教科平均	塾内平均	ss60.9	数学平均	塾内平均	ss62.0
選択クラス平均	ss65.4		選択クラス平均	ss66.2	
普通クラス平均	ss57.5		普通クラス平均	ss58.9	
	国語平均	塾内平均	塾内平均	ss61.4	
		選択クラス平均	選択クラス平均	ss64.4	
		普通クラス平均	普通クラス平均	ss59.2	

5教科平均	塾内平均	ss61.9	英語平均	塾内平均	ss63.2
選択クラス平均	ss69.1		選択クラス平均	ss69.2	
普通クラス平均	ss56.1		普通クラス平均	ss58.4	
3教科平均	塾内平均	ss62.3	数学平均	塾内平均	ss63.9
選択クラス平均	ss69.2		選択クラス平均	ss69.3	
普通クラス平均	ss56.7		普通クラス平均	ss59.5	
	国語平均	塾内平均	塾内平均	ss62.7	
		選択クラス平均	選択クラス平均	ss69.2	
		普通クラス平均	普通クラス平均	ss57.5	

学習塾ウィル 新所沢教室

第11期生 (28名) の『実績』

平均偏差値 **ss64.4** (3教科平均)

※3年次で最も受験者数の多い9月～12月の北沢テスト、各生徒の最高値の平均です。

学習塾ウィル 新所沢教室
第11期生28名の『私立高校進学先』と『国立・公立高校志望先』

県立	浦和高校	1名
	川越高校	3名
	川越女子高校	1名
	所沢北高校(理数科)	2名
	所沢北高校(普通科)	4名
	和光国際高校(普通科)	1名
	所沢高校	7名
	川越南高校	2名
	坂戸高校(外国語科)	1名
	所沢西高校	1名
私立	国際基督教大学高校(ICUHS)	1名
	城北高校	1名
	錦城高校(進学)	1名
	星野高校(α選抜)	1名
	浦和実業高校(選抜)	1名
	計	28名

「ウィルは頼りの良い子が通う塾」そう言っていたという生徒は、進路が評価されているというところから、誇らしく、またありがたきことでもあるのですが、それと同時にある種の違和感を感じているのも事実です。なぜならウィルの持つ教育効果を最大限に高めるには、「講師はもとより、生徒の先生や同期の仲間たちが作り出す雰囲気、つまり「何をやるか」「何をやるか」にあるからです。「何をやるか」という伝統が崩れ出す「崩」の力。11期生たちはそれに加入して「崩れ」を止めようとしていた。しかし「崩れ」は止まらず、切実な声も届かずにいなくなりました。結果は平均偏差値が22点、選択クラスは全教科で見て歴代1位。数字が上がれば志望校も必然的に高くなります。最後まで全力で駆け抜けてくれた頼もしい11期生！



富田教室長
ss70程度 ss55程度
ss65程度 ss50程度
ss60程度 ss50未満

※私立高校の併願合格は掲載しておりません。
※この広告が2月12日作成のため、公立高校ならびに都内私立高校の一部の合格はまだ出ておりません。最終的な進学実績につきましてはHPにて公開しておりますのでご興味のある方はそちらでご確認ください。

5教科平均	塾内平均	ss64.0	英語平均	塾内平均	ss66.0
選択クラス平均	ss69.4		選択クラス平均	ss70.2	
普通クラス平均	ss59.9		普通クラス平均	ss62.9	
3教科平均	塾内平均	ss64.4	数学平均	塾内平均	ss63.1
選択クラス平均	ss70.1		選択クラス平均	ss68.3	
普通クラス平均	ss60.1		普通クラス平均	ss59.1	
	国語平均	塾内平均	塾内平均	ss65.6	
		選択クラス平均	選択クラス平均	ss70.3	
		普通クラス平均	普通クラス平均	ss62.0	

5教科平均	塾内平均	ss60.4	英語平均	塾内平均	ss61.6
選択クラス平均	ss65.1		選択クラス平均	ss66.3	
普通クラス平均	ss55.7		普通クラス平均	ss57.0	
3教科平均	塾内平均	ss60.6	数学平均	塾内平均	ss60.4
選択クラス平均	ss65.1		選択クラス平均	ss67.8	
普通クラス平均	ss56.2		普通クラス平均	ss56.8	
	国語平均	塾内平均	塾内平均	ss60.9	
		選択クラス平均	選択クラス平均	ss65.8	
		普通クラス平均	普通クラス平均	ss56.1	

5教科平均	塾内平均	ss60.9	英語平均	塾内平均	ss62.7
選択クラス平均	ss66.6		選択クラス平均	ss67.1	
普通クラス平均	ss55.9		普通クラス平均	ss58.9	
3教科平均	塾内平均	ss61.4	数学平均	塾内平均	ss61.8
選択クラス平均	ss66.9		選択クラス平均	ss67.8	
普通クラス平均	ss56.7		普通クラス平均	ss56.7	
	国語平均	塾内平均	塾内平均	ss61.5	
		選択クラス平均	選択クラス平均	ss66.9	
		普通クラス平均	普通クラス平均	ss56.9	

昨年度卒業生への保護者のみなさまの声です。

1 Y様

娘は中二の12月からウィルに通うようになりました。それまでは個別指導の塾に行っていました。なかなかやる気が出ず、受験に不安を持っていました。東所沢のウィルの評判は以前から聞いていたのですが、実際に入塾すると、所沢教室があることを知り、こちらにお願いすることにしました。ウィルの特徴である「学年がチーム」という定員制のおかげで他の友達の頑張る姿が刺激になり、少しずつ勉強に向かう姿勢が変わってきました。親として特にありがたかったのは、自習室の開放と自習が必ず行われていたこと、そして自習に行かざるを得ない雰囲気作り、さらに自習なのに「もっと早く来い」との言葉、うちの娘はこれがなければダメでした。とても面倒臭いよ！と感謝しています。初めての受験で「一杯頑張った」「ベストを尽くした」と思っていたのは、本人のこれからの人生にとって大きな力になると思います。ウィルに高校生クラスがあればいいのにも思いますが、高校受験の経験を生かし、今度は自分で高校での勉強がんばってほしいと思います。本心からありがとうございます。

4 K様

「埼玉県の高校入試にあり難い難易度が大きな比重を占める」というインパクトのある説明会のお話。今では、本当にその通りだと思っています。中3の春期講習からと入塾して、定員制で頑張っている仲間の中に1人入るのには心配して、それまで定期テストの前に、学校のワークをや、そこそこ切り抜けた勉強で、苦手な分野はそのままだってました。ウィルでは、全分野の弱点をおさえ、体系的に学習し直すことができて助かりました。学習面での成長はもちろんですが、初めての受験という大変な時期を精神的に安心して迎えられることも大きかったです。親や学校の先生とも違う、距離感で自分のことを真剣に想ってくれる先生(人)と出会い、人見知りの息子はすっかり心を開き、何でも相談できたようです。私立の併願校を決める際も、偏差値で志望校を決めるのではなく本人が納得いくまで気長に相談のつて頂きました。将来の方向性、やりたい部活、本人の性格を考慮合わせ、実際に先生方が私立高校を訪問され、肌で感じられた雰囲気や温度感まで伝えて頂きました。面談の際には、将来のことをどう考え、何を優先したいと思っているのか、そこで初めてわかることもありました。親子では、なかなか話さず、まっすぐまわすことも多く、本音を聞き出す良いきっかけとなりました。息子の先生に対する信頼度はここでも再認識しました。受験当日、ウィルで同じ高校を受けた子全員、同じ予備校(いちご味)を食べたというそう。どれだけがつり先生に心をつかまれているのだろう...と、笑ってしまいました。おかげで、当日、変に緊張することもなく、実力を発揮したのだと思います。1年間という短い時間でしたが、ぎゅっと凝縮された中味の濃い時間を過ごすことができました。あがとうございました。できたら、今後も、事あるごとに、相談に乗って頂けたら嬉しいです。追伸、どうしたら、こんなにも素敵な人間に育ってくれるのだろう...という先生が多く、親としてはそちらの秘訣も知りたいところです。

7 O様

家ではまったく勉強せず、塾にいる時だけの学習で、第一希望の浦和高校に合格できたので、身につけた学力は本当に塾の先生のおかげだと思います。塾長先生との面談では、熱く語っていただいたことで、その気になりやすい息子の学びの伸びは驚くほどでした。ほんと毎日塾に通って、いかに対応していただいた先生方、本当にありがとうございました。これから、高校、大学と進んでいくと思いますが、時々、塾に顔を出せたらと思います。今後よろしくお願ひします。

2 I様

ウィルでは小5の後半からお世話になりました。学習面ばかりでなく息子自身としっかり向き合い、引き伸ばそうと励まし接して頂いた事に感謝の気持ちで一杯です。基礎力キープがはじまり、試験機会の息子を見て、このままでは皆についていけず足を引く張ってしまっているのではないかと心配になり、富田先生に辞める事を視野に入れて相談したことがありました。その際に「ダメならこちらからはっきり言うので大丈夫ですよ。」とすぐに返答を頂いた。現状の息子を見て判断するのは、息子の持つ力を信じて長い目で見守って行く必要性に気づかされた思いが強い。性格的にうちの娘はこれからの人生で「一杯頑張った」「ベストを尽くした」と思っています。初めての受験で「一杯頑張った」「ベストを尽くした」と思っていたのは、本人のこれからの人生にとって大きな力になると思います。ウィルに高校生クラスがあればいいのにも思いますが、高校受験の経験を生かし、今度は自分で高校での勉強がんばってほしいと思います。本心からありがとうございます。

5 K様

Willでは中学校3年間お世話になりました。人と競い合う事が苦手、勉強を進んでやる子ではなかったですがWillの特長である定員制、自分もみんなと共に歩んでいく仲間1人だと自覚させたのしよ。自然と勉強しようという気持ちに切り替えができたと思います。富田先生の1人1人に目を向ける心遣いや声かけ、時には家族のような視点でフランクに接してられる姿も思い出した1つの理由です。また、現役の大学生による授業も工夫や試行がなされているようで楽しそうに話を聞かれました。自分も勉強を続けることで先生のような学生(大人)になっていく。自分の近い将来をする、励みになり得る力があったのだと思います。子供の気持ちに寄り添ったご指導ありがとうございました。

8 T様

中2からのスタートとなった塾生活ははじまりに塾長との面談で「将来何になるのか」について話を聞いてもらいました。高校入試が目標ではなく、その先をみて何をしなければならぬかを常に考えることを教えていただきました。年齢の近い先生方が親しみやすく、寄り添って勉強を教えてくださいました。クラス単位で切磋琢磨して向上すること、引き寄せられるように塾に向かうようになりました。授業のない日でも自習に行くことが当たり前になりました。それまで勉強という勉強をしたことがなかった子でしたが、1年生から3年生の終わりの頃成績は驚くほど上がりました。いつか来てほしいよと言ってくださる塾生は本当に嬉しいです。いつも先生方がいてくれて、自習に来た生徒一人ひとりに、個別で教えてくれるという環境は素晴らしいと思っています。夕々と親子でお世話になりました。ありがとうございました。

3 H様

我が息子の塾として、ウィルを選んだ点で良かったと思えることはたくさんありますが、その中でも強く感じている点を2点あげさせていただきます。まず1点目は「泣いたり思える大人(先生)がそこにいる」という点。暇さえあれば「ウィルに行く」と向かい向った息子。勉強だけでなく、年齢の近い先生の日常や近頃の話を、絵空事ではなくリアルに、リアルに自分の目指す道を感じられたことが、ココロと頑張るの原動力になったと感じています。2点目は「定員制」。固定メンバーということことで、先生皆が生徒1人1人の個性や弱点を理解したアドバイスを頂けたこと、又、学校は進んでみんなど一つ一つの目標を目指すというところからこのように価値観を持てたことは、息子にとって大きなことだったと思います。息子もいつか先生として戻って来たいとのことでした。

6 N様

個別指導から多人数制指導に変える際正直不安がありました。個別でもうまく出来なかった子がはたして多人数でうまくいくのかなど。しかしその不安はすぐに消えました。なぜなら、みんなが頑張っている姿が息子にとって、とても良い刺激になっていたからです。それにも関わらず先生方の熱心な指導にどんと導かれていき、びっくりする程結果につながっていき、また、そればますます本人のやる気もアップ。無理を言って受け入れて頂いたことに対する感謝があり、本人も塾生を運ぶ、本人の希望に沿って各校の特色を分かりやすく話していただき、本人もとても喜びやすかったと思います。とても何百校とある学校の中で取り込めることは容易ではないので、推薦支援を受けて頂くことで本人も安心して受験できたこと言っています。もう少し早く Will の 最良を受け取ることができたなら、今は本当に残念な思いです。皆さんの愛情を本当にありがとうございました。

9 S様

先生方には夜遅くまで毎日お付き合いいただき本当に感謝しております。最後まで励み、頑張る環境を作り続けていただき、娘も心強かたと思います。片道20分の道のりをほぼ毎日通った1年半、強い意志を持って通いとおせた事は親としても頭が下がります。あの子が頑張っているから私も励み合える仲間がいたのもとても大きかったです。最初は課題をこなすことも一杯一杯だったと思いますが、「何と理解できるようになりたい」「わからない問題をなくしたい」と自然と勉強に対する意識が変わっていくのを感じられました。親子よく話す事は、「Willにお世話になって本当に良かった」と言うことです。入試は県立志望校不合格と残念な結果でしたが、基礎学力を身に付けるためにちゃんとその問題と向き合い考えたいこと、目標に向かって頑張るとのこと等々、真摯に向き合い指導していただきました。そして尊敬でき、素直に言うことが聞かなくなる、そんな魅力を持つ先生方に会えたこと娘にとっても宝物となりました。私立高校の受験後も本人の希望などから何かを考えていただき、責任を持って受験後の対応もしてくださったことも心強かたです。だからこそ、私立に通うことになって、ここぞと頑張ろうと思えるのだと思います。またこの先もいる壁にぶつかり、心折れそうになったとき、真っ先に相談したいと頭を浮かぶのは先生方だと思います。いつでも帰れる港でお願いしていただけに幸いです。勝手ですが申しあげたことがどうぞよろしくお願いしたいと思います。そして本当にありがとうございました。

